

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	代数幾何と可積分系の融合 - 理論の深化と数学・数理物理学における新展開 -
研究代表者	齋藤 政彦 (神戸大学・理学(系)研究科(研究院)・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>応募者が、可積分系の研究に代数幾何の手法を持ち込んで得られた研究業績は国際的に高く評価されている。本研究では、これまでの研究にさらに漸近展開などの新しい要素を加えて深化するとともに、双有理幾何学やミラー対称性などの関連分野の有力な研究者と協力し、理論の新展開を目指すものである。</p> <p>応募者の高い研究遂行能力から、可積分系と代数幾何を融合させる大きな研究成果を期待できる。分野間の融合に、応募者がさらにリーダーシップを発揮することを期待する。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>